

平成28年熊本地震 日本医師会 災害医療チームJMAT について

北海道

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

島根

山口

広島

岡山

愛媛

高知

香川

徳島

鳥取

岡山

兵庫

京都

奈良

和歌山

滋賀

三重

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

愛知

神奈川

東京

千葉

茨城

栃木

群馬

福島

宮城

岩手

青森

秋田

山形

新潟

富山

石川

福井

岐阜

長野

静岡

福岡
佐賀
大分
宮崎
熊本
鹿児島

長崎

沖縄

公益社団法人日本医師会
定例会見

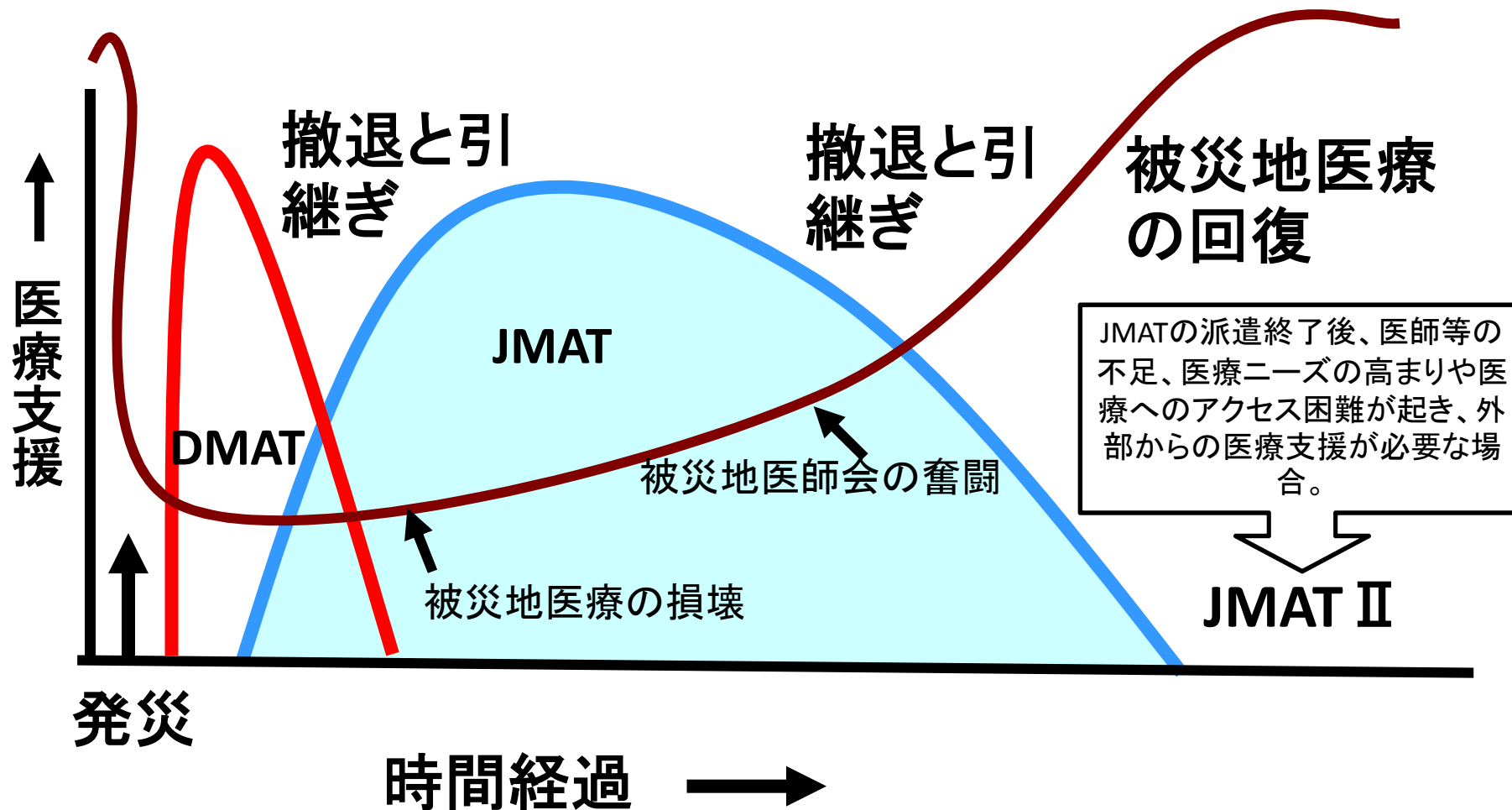
2016年7月27日

J M A T（日本医師会災害医療チーム）

役割

- 救護所、避難所等における医療・健康管理
 - 被災地の病院・診療所の医療支援（災害発生前からの医療の継続）
- ① 避難者に対する医療、健康管理
 - ② 避難所等の公衆衛生対策：感染症対策、避難者の健康状態、食生活の把握と改善
 - ③ 在宅患者の医療、健康管理
 - ④ 派遣先地域の医療ニーズの把握と評価
 - ⑤ 医療支援が行き届いていない地域（医療支援空白地域）の把握、及び巡回診療等の実施
 - ⑥ 現地の情報の収集・把握、共有
 - ⑦ 被災地の医療関係者間の連絡会の設置支援
 - ⑧ 患者移送
 - ⑨ 再建後の被災地医療機関への引継ぎ

DMATとJMATの役割分担（概念図）



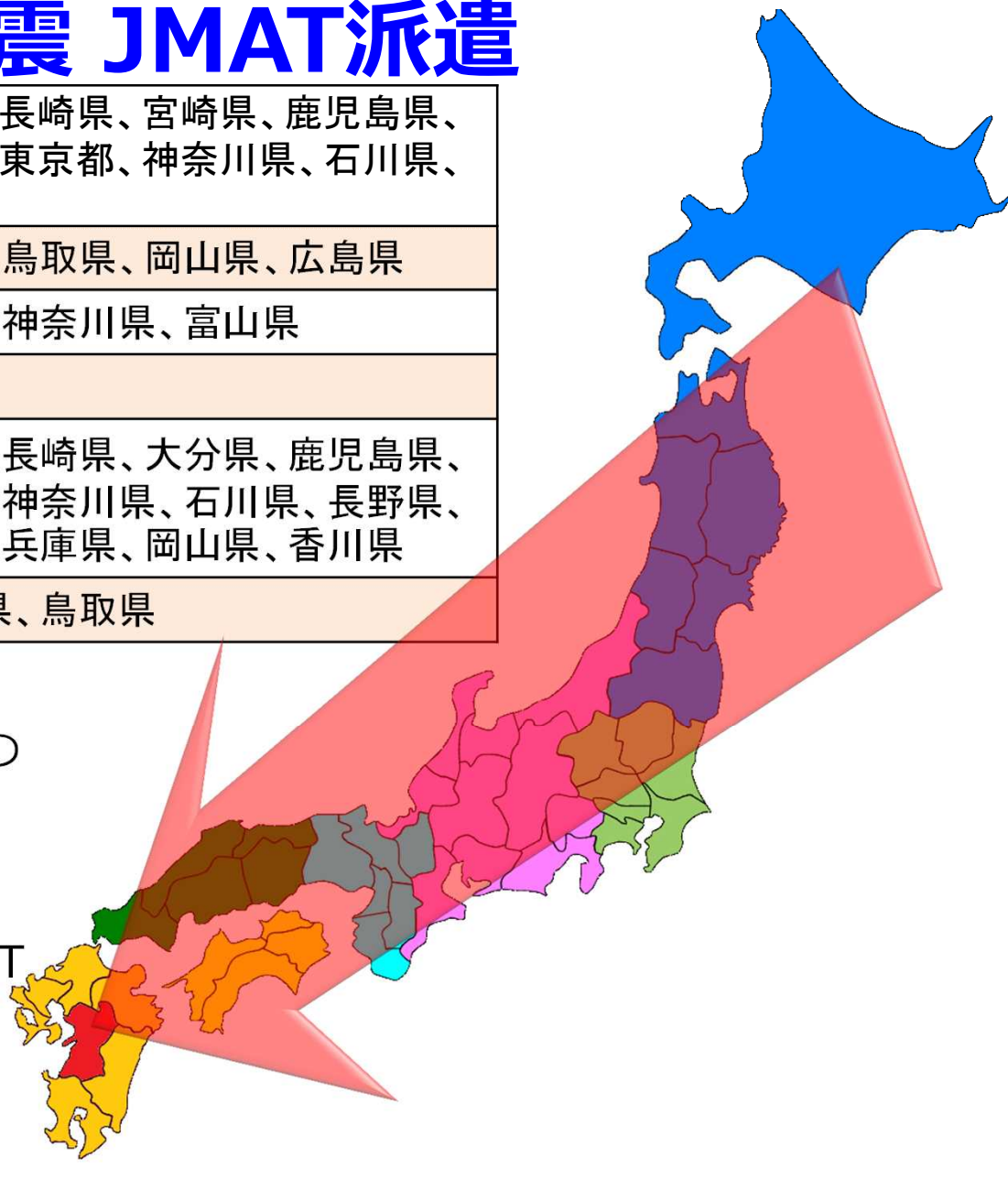
日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(平成24年3月10日)資料
(「DMATとJMATの連携」(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長(当時))

平成28年熊本地震 JMAT派遣

熊本市	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、 沖縄県、宮城県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、 愛知県
阿蘇市	熊本県、東京都、山梨県、鳥取県、岡山県、広島県
南阿蘇村	熊本県、福岡県、東京都、神奈川県、富山県
宇土市	熊本県、鹿児島県
益城町	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、 宮城県、福島県、東京都、神奈川県、石川県、長野県、 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県
大津町ほか	熊本県、神奈川県、静岡県、鳥取県

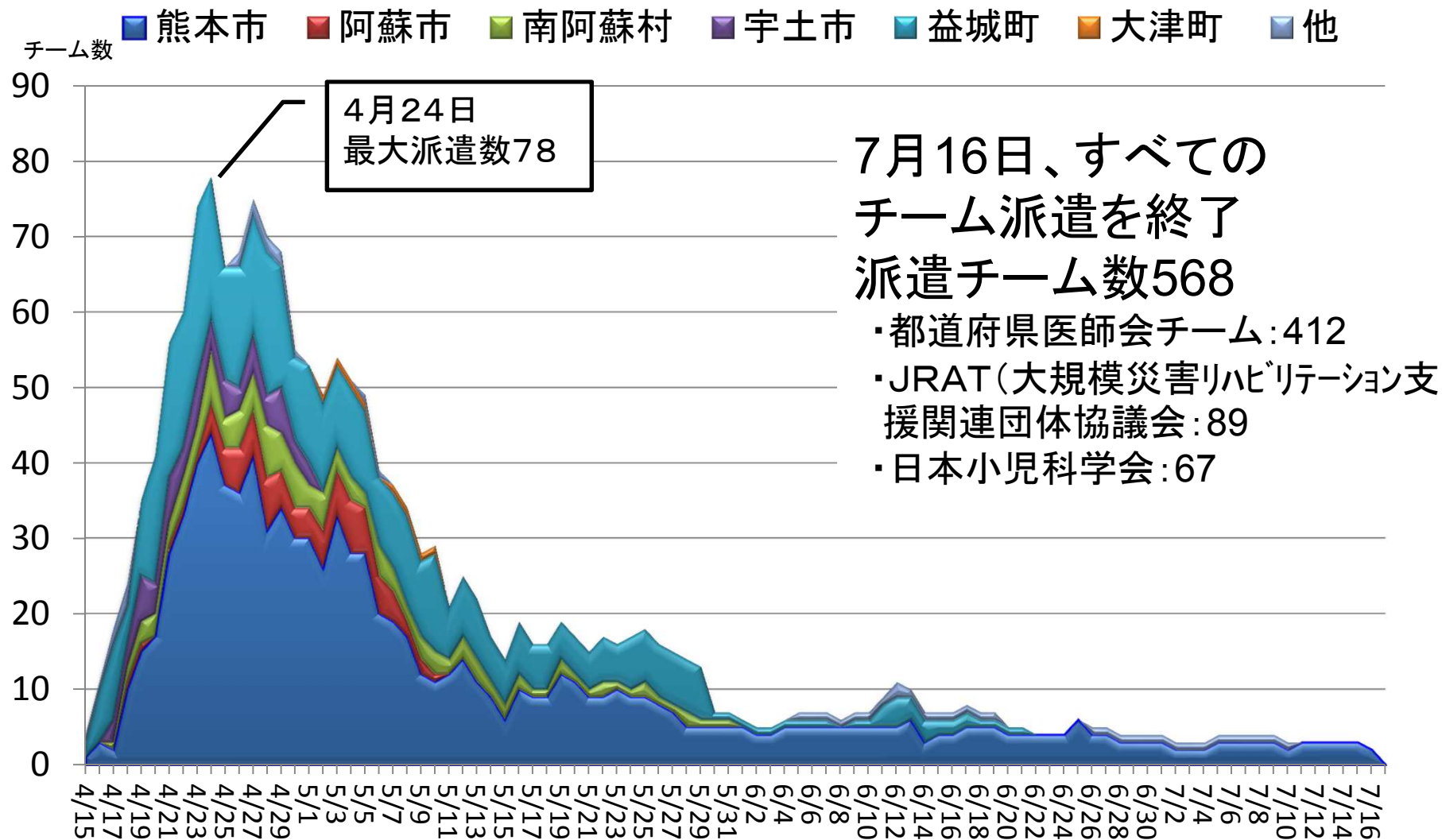
今回のJMAT活動の特徴

- 東日本大震災時に比べて“JMAT”の名前が浸透
- 災害前から、九州医師会連合会にて相互支援協定を締結
- 熊本県医師会でも災害前からJMATを編成
- 兵庫県医師会、沖縄県医師会など現地のコーディネーター役を担うケースあり



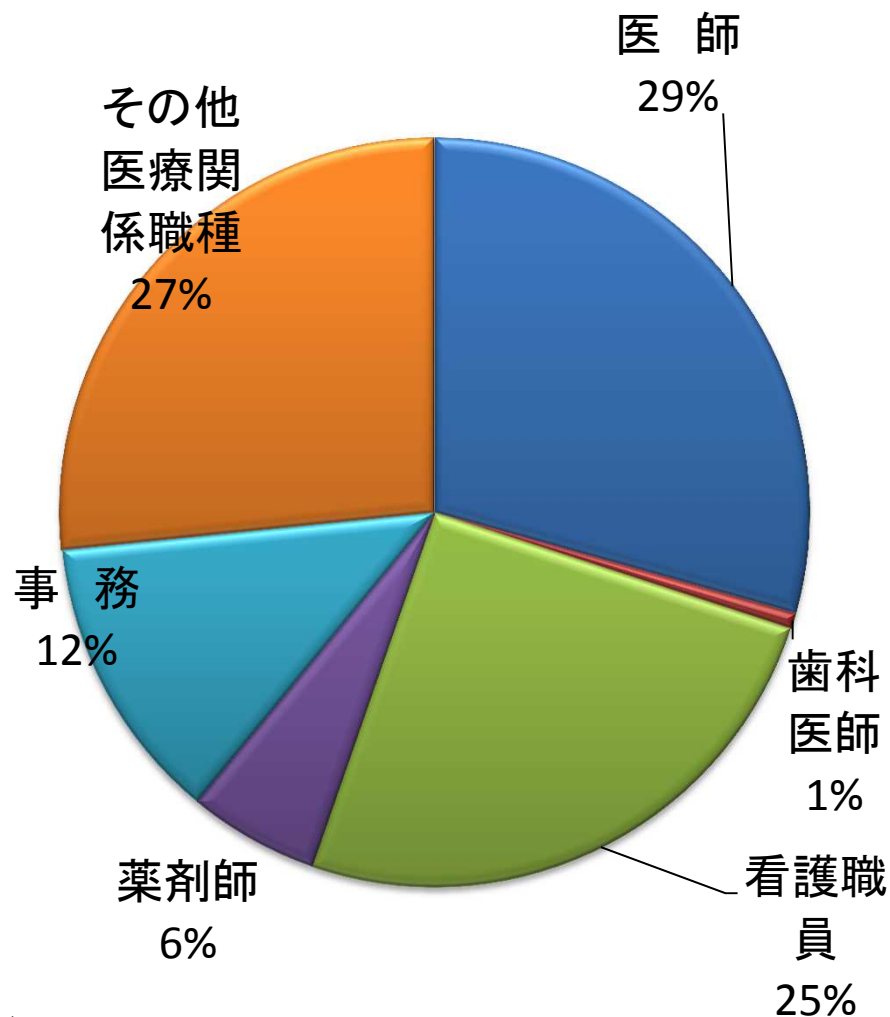
※他に、医師会が組織した知事チーム（長崎県、北海道、秋田県、茨城県、新潟県、山口県など）、
民医連、JRAT、日本小児科学会チームとしてのJMATあり

平成28年熊本地震 JMAT派遣 (7月26日現在)



平成28年熊本地震 JMAT派遣 (7月26日現在) 参加者数

職 種	派遣人数
医 師	750
歯科医師	17
看護職員	647
薬剤師	144
事 務	318
その他 医療関係職種	680
合 計	2556



※数値は延べ人数 (派:派遣中及び派遣終了、準:準備中、視察を含む)

＜参考＞ 防災基本計画の改定

(2016年5月31日)

第2編 各災害に共通する対策編 第2章 災害応急対策に、 下記を追加

- 都道府県は、災害派遣医療チーム（DMAT）による活動と並行して、また、災害派遣医療チーム（DMAT）活動の終了以降、**日本医師会災害医療チーム（JMAT）**、日本赤十字社、独立行政法人国立病院機構、国立大学病院、日本歯科医師会、民間医療機関等からの医療チーム派遣等の協力を得て、避難所、救護所も含め、被災地における医療提供体制の確保・継続を図るものとし、その調整に当たっては災害医療コーディネーターを活用するものとする。その際、医療チーム等の交代により医療情報が断絶することのないよう、被災地における診療情報の引継ぎが適切に実施されるよう、努めるものとする。

平成28年熊本地震における JMATの活動終了について

- 2016年7月16日を以て、全てのチームが活動を終了
- 現時点において、新たなチーム派遣の予定はない。

第5回日本医師会理事会（平成28年7月26日開催）において、JMATの活動を終了し、次の大規模災害に向けた検討を行っていくことを決定。

今後の取組み（予定）

- **JMAT活動の報告・検証**
 - 都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会の開催（今秋）
 - 日本医師会「救急災害医療対策委員会」における検討
 - JAXA（国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構）等との防災訓練（衛星利用実証実験）の実施
- **国の防災行政におけるJMATの位置づけ強化**
 - 中央防災会議（傘下の防災対策実行会議、関係WGにおける議論）